

千葉県まちづくり応援寄附金
登録団体向けアンケート
集計結果報告書

令和3年12月

千葉県

調査概要

○目的

初年度における事業の課題点を探し、また効果を検証することで、今後のサービス向上と制度改善の参考にする。

○対象者

令和3年6月末時点での、まち寄附対象団体への登録団体30団体

○調査期間

令和3年7月2日(金)～令和3年7月16日(金)

○調査方法

ちば電子申請サービス※によるアンケートをメールにて送付(30団体)

※自宅や職場などの身近な場所からインターネットを通じて行政手続きができるサービス

○回収状況

回収数： 24人/30団体

回収率： 80%

○留意事項

- ・集計結果の数値は、原則として回答割合(%)を表記する。(小数点以下第一位を四捨五入)
- ・回答割合(%)は、質問ごとの回答件数を全回答件数で除して算出する。

集計結果

1. はじめに、まち寄附に登録したきっかけについて教えてください。

【すべての方】

1-1. まち寄附について、どこで知りましたか？(複数選択可)

1. NPO 通信 2. 市政だより 3. 市のホームページ
4. 知人からの紹介 5. その他()

表 1

Q1-1 まち寄付を知ったきっかけ		団体	%
1	その他（市(担当者)からの案内)	8	28%
2	NPO 通信	7	24%
3	知人からの紹介	5	17%
3	市のホームページ	5	17%
4	市政だより	4	14%
計		29	100%

○市からの案内により、まち寄附を知った法人が多い。

【すべての方】

1-2. まち寄附の対象団体に登録しようと思った理由は何ですか？(複数選択可)

1. より多くの寄附金を得るため 2. 新しい寄附者を増やすため 3. 活動を知ってもらうため
4. 活動への参加者を増やすため 5. その他()

表 2

Q1-2 まち寄附に登録した理由		団体	%
1	活動を知ってもらうため	21	33%
2	より多くの寄附金を得るため	16	25%
2	新しい寄附者を増やすため	16	25%
3	活動への参加者を増やすため	11	17%
計		64	100%

○まち寄附に登録した理由として、「活動の周知」を目的としている法人が最も多い。

2. 次に、実際にまち寄附を利用してみた所感をお聞かせください。

【すべての方】

2-1. まち寄附を通じて、寄附がありましたか？

1. ある（→質問2-2へ） 2. ない（→質問2-4, 質問2-5へ）

表 3

Q2-1 寄附の有無		団体	%
1	ある	17	71%
2	ない	7	29%
計		24	100%

○アンケートに回答した法人のうち、約7割以上がまち寄附を通じて寄附の受入があったと回答。

【質問2-1で「ある」とお答えの方】

2-2. まち寄附への登録後、寄附件数や金額増加など良い影響はありましたか？

1. ある（→質問2-3へ） 2. ない（→質問2-7へ）

表 4

Q2-2 寄附による良い影響の有無		団体	%
1	ある	15	88%
2	ない	2	12%
計		17	100%

○寄附の受入があった17法人のうち、15法人が実際に寄附によって良い影響があったと回答。

【質問2-2で「ある」とお答えの方】

2-3. 良い影響の内容を具体的に教えてください。(複数選択可)(→質問2-7へ)

1. 寄附金額が増加した
2. 新しい寄附者が増えた
3. 既存の事業の拡大につながった
4. 新規の事業を行うことができた
5. 活動への参加者が増えた
6. 活動の周知につながった
7. その他()

表 5

Q2-3 良い影響とは具体的に何にか		団体	%
1	新しい寄附者が増えた	12	32%
2	寄附金額が増加した	11	30%
3	既存の事業の拡大につながった	6	16%
3	活動の周知につながった	6	16%
4	新規の事業を行うことができた	1	3%
4	活動への参加者が増えた	1	3%
5	その他	0	0%
計		37	100%

○良い影響の具体的な内容として、「新規寄附者の増加」や「寄附金額の増加」が2つで6割を超えている。

【質問2-1で「ない」とお答えの方】

2-4. 寄附がなかった理由として考えられるものを教えてください。(複数選択可)(→質問2-5へ)

1. まち寄附について知る人が少ない
2. 法人独自で寄附者の募集を効果的に行えていない
3. 寄附者がまち寄附を利用するメリットが少ない
4. 新型コロナの影響により、団体として活動ができていない
5. その他()

表 6

Q2-4 寄附が無かった理由		団体	%
1	まち寄附について知る人が少ない	7	64%
2	寄附者がまち寄附を利用するメリットが少ない	2	18%
3	法人独自で寄附者の募集を効果的に行えていない	1	9%
3	その他（市役所によるまち寄附の周知が不十分）	1	9%
4	新型コロナの影響により、団体として活動ができていない	0	0%
計		11	100%

○寄附が無かった理由として、まち寄附の認知度の低さを指摘する意見が最も多い。

【質問2-1で「ない」とお答えの方】

2-5. 寄附者を増やすために、今後、法人としてなにか取り組む予定はありますか？

1. ある（→質問2-6へ） 2. ない（→質問2-7へ）

表 7

Q2-5 寄附を増やすために今後何か取り組む予定があるか		団体	%
1	ある	6	86%
2	ない	1	14%
計		7	100%

○寄附の受入実績がない法人の多くが、今後寄附を増やすために周知を行うことを検討している。

【質問2-5で「ある」とお答えの方】

2-6. 具体的に何をしようと考えているのか教えてください。(自由記述)(→質問2-7へ)

表 8

Q2-6 具体的にどんな周知を行う予定か（6法人中）
・法人の広報誌やHP、SNS にまち寄附の情報を掲載する。
・分かりやすい活動紹介用の資料を作成し、事業団体を訪問して活動を紹介する。またその際に、会員登録と寄附を依頼する。
・法人広報誌にて、活動内容や財政状況の周知を継続的に行う。

【すべての方】

2-7. まち寄附を通じた寄附を募集するために、現在、法人が独自で行っている周知方法を教えてください。(複数選択可) (1~6 を回答した方は質問2-8へ、7 を回答した方は質問2-9へ)

1. ホームページへの掲載 2. 広報物の配布 3. 他団体の広報物への掲載
4. 会員への寄附依頼 5. 会員以外の個人または団体への個別の寄附依頼
6. その他() 7. 特になにもしていない

表 9

Q2-7 法人独自で行なっている周知方法はなにか		団体	%
1	会員への寄附依頼	12	27%
2	ホームページへの掲載	10	22%
3	広報物の配布	8	18%
4	会員以外の個人または団体への個別の寄附依頼	7	16%
5	特になにもしていない	5	11%
6	その他 (以下、その他の内容の抜粋) ・新聞、SNS での呼びかけ	3	7%
7	他団体の広報物への掲載	0	0%
計		45	100%

○「会員への寄附依頼」や「ホームページへの掲載」など、法人独自で寄附募集の周知を行っている法人が多い。(なお、法人独自で周知を行っていないと回答した5法人は、寄附の受入実績がない。)

【質問2-7で「1~6 のいずれか」をお答えの方】

2-8. 質問2-7で回答した周知方法の中で特に効果的だと感じるものを一つ教えてください。(→質問2-10へ)

表 10

Q2-8 特に有効な周知方法はなにか		団体	%
1	会員への寄附依頼	5	26%
1	会員以外の個人または団体への個別の寄附依頼	5	26%
2	ホームページへの掲載	4	21%
3	広報物の配布	3	16%
4	その他 (以下、その他の内容の抜粋) ・市からの案内 ・SNS での呼びかけ	2	11%
計		19	100%

○特に有効な周知方法として、「(会員や会員以外の個人や団体への)個別の寄附依頼」が最も多い。

【質問2-7で「特になにもしていない」とお答えの方】

2-9. 周知を行っていない理由を教えてください。また、今後行おうと考えている周知方法があれば教えてください。(自由記述)

表 11

Q2-9 法人で周知を行っていない理由 (5法人中)
・効果的な周知方法が思い浮かばないから
・まち寄附の制度に委ねているから
・切迫した財政状況では無いから
・人員不足

【すべての方】

2-10. まち寄附で得た(または得られた場合の)寄附金の今後の活用方針について教えてください。(複数選択可) (1~3を回答した方は質問3-1へ、4を回答した方は質問2-11)

1. 既存の事業を拡大したい
2. 新規の事業を行いたい
3. その他()
4. 特に考えていない

表 12

Q2-10 寄附の活用方針		団体	%
1	既存の事業を拡大したい	16	73%
2	その他 (以下、その他の内容の抜粋) ・人件費不足の解消(会員へのサービス向上、給与 UP) ・事業費不足の解消(活動原資、赤字解消)	4	18%
3	新規の事業を行いたい	2	9%
計		22	100%

○寄附金の今後の活用方針について、「既存の事業拡大」に充てたいと回答した法人が7割を超える。

【質問2-10で「特に考えていない」とお答えの方】

2-11. 寄附金の今後の活用方針について特に考えていない理由を教えてください。

→回答なし

3. 最後に、市民活動に対する行政からの支援をより充実させるために、ご意見をお聞かせください。

【すべての方】

3-1. 今後もまち寄附の利用を継続していきたいと感じていますか。

1. 利用したい 2. 利用しなくてよい 3. どちらともいえない

表 13

Q3-1 今後もまち寄附を利用したいか		団体	%
1	利用したい	23	96%
2	どちらとも言えない	1	4%
3	利用しなくてよい	0	0%
計		24	100%

○ほとんどの対象団体が、今後もまち寄附を利用したいと回答。

【すべての方】

3-2. 質問3-1で答えられたように感じている理由を教えてください。

【 ① 活動の周知や理解促進に関すること 】 13件

○内容(抜粋)

- ・ 当会の活動を広報することにより、多くの方の活動参加を促進したいから。
- ・ 会全体の運営資金が増えるだけでなく、当会の活動を周知でき、場合によっては会員になってともに活動することを期待できるため。
- ・ 寄付者は今のところ1件で匿名の方だが、当法人の活動を知って共感してもらい、寄付しようとしてくれたことが職員にとって非常に励みになった。寄付することは、金額面だけでなく、活動に関する共感・賛同であると考えているので、これからも様々な形で寄付を呼び掛けていきたい、まち寄附はその一つとして、広く市民の方に活動を知ってもらえる機会だと考えているから。

【 ② 寄附者・寄附金額の増加に関すること 】 5件

○内容(抜粋)

- ・ 独自の広報だけでは出会えない寄付者とつながることができるから。
- ・ 会の運営は経済的にもきびしいので、寄附をいただくとありがたい。また、これまで考えられなかった事業にも取り組める可能性が出てきたから。

【 ③ 寄附者からの信頼に関すること 】 5件

○内容(抜粋)

- ・ 千葉市とふるさと納税を通して信用を得ることができ、また既存の寄附者へもメリットを説明し信頼を強化することができるから。
- ・ 千葉市のホームページに法人の案内が載っている事で法人の広報活動に繋がり、新しい寄附者が安心して寄附をして頂けるから。

【 ④ 寄附者へのメリットに関すること 】 4件

○内容(抜粋)

- ・ 寄附していただける企業や個人の方が税金の優遇を受けることが出来るから。
- ・ 寄附をされた方から、諸々の手続きが簡便化できたと伺っており、この仕組みで寄附へのハードルが下がるものと考えから。

【すべての方】

3-3. まち寄附の制度について、改善を希望する点や効果的だと感じる点等があれば教えてください。(自由記述)

【 ① 制度の周知に関すること 】 10件

○内容(抜粋)

- ・ まち寄付制度のPRを充実してほしい。
- ・ ネット上だけでなく、市の広報紙でも紹介すれば、より多くの市民の方に認知される可能性があると思う。
- ・ 登録団体の紹介もしくは団体特集などを組んで、行政からも具体的に広報の後押しをしてほしい。

【 ② 制度の運用に関すること 】 6件

○内容(抜粋)

- ・ 寄附金を請求し交付後に支出しないといけないので、「今これがしたい、買いたい」と思ってもタイムラグがあり、諦めることもある。年度の寄附見込みをもとに、先に支出してもいいように柔軟性を持たせられるとよい。
- ・ 金額を制限した上で返礼品(体験なども含む)も出すことで、寄付を呼びかけやすくなるかと思う。
- ・ 用途を決めての申請ではなく、まち寄附からの寄付金は自由に使わせてほしい。
- ・ 提出書類の削減や手続きの簡素化を考慮されたい。

【 ③ 操作の改善に関すること 】 3件

○内容(抜粋)

- ・ 実際に当法人にふるさと納税を通して寄付をする場合、当法人を見つけ、寄付登録が完了するまでの手続きが少しわかりづらいつ感じるため、何かしらの工夫があるとよい。
- ・ まち寄附のサイトから自分の団体を選び寄付をする過程が難しい。

【 ④ その他 】 6件

○内容(抜粋)

- ・ この制度によって寄付者にもメリットを見出していただくことができ、とても募りやすい。当法人事業の継続、発展に大きく貢献してくださっている制度である。
- ・ 他団体が行っている寄附募集の周知の方法や、どのような団体に寄附が集まり易いのか知りたい。
- ・ 今後登録団体が増えた場合、新規の寄付者は選ぶことが難しくなると思われる。

【すべての方】

3-4. 活動を継続していく上で、行政からの支援として期待することがあれば教えてください。(まち寄附以外についてでも結構です。※制度への反映を検討するため、参考とさせていただきます)(自由記述)

【 ① 市広報誌等での活動のPRについて 】 4件

○内容(抜粋)

- ・ 行政が市民活動でカバーして欲しい地域の課題に取り組む活動団体の活動をPRするツール(市政だよりの拡充)が欲しい。まち寄附団体が企画する啓発イベントについては市政だよりに掲載してもらえ、あるいはまち寄附ページに設けるとか、広報面の支援を期待する。
- ・ 当会は、会員の健康を保持するためのウォーキング活動をしている。会員は高齢者が多いので、季節に合った「高齢者に留意した健康情報」を発信している。「市政だより」などを活用して、健康情報を発信していただきたい。

【 ② 活動への理解と財政支援について 】 3件

○内容(抜粋)

- ・ 活動内容によると思うが、地域生活に欠かせないサポートを提供しているような事業所は、しっかりと公が支えるという意識が必要だと思う。メンバーの高齢化により、一部の事業の提供が継続できなくなることが見えている。一定の助成金が必要だと思う。
- ・ 谷津田の保全活動に取り組んで 25 年になる。千葉市にとって貴重な谷津田を守るため、市として保全地域を取得し、今後も継続して保全される仕組み作りが求められる。当会では、まち寄附でいただいた寄附金で可能ならば土地を購入し、市に寄附するなどできたらいいと考えている。谷津田の保全は、千葉市独自の取り組みで、全国的にも類を見ない先進的な取り組みであり、将来にわたって活動が継続されていくよう、まち寄附が活かされていくといい。
- ・ プレーパークの教育的価値、居場所としての価値、地域コミュニティとしての価値を知っていただきたい。そして、ゆくゆくは各区に 1 つ常設型プレーパークを設けていけるよう、制度的財政的な支援をいただきたい。

【 ③ その他 】 4件

○内容(抜粋)

- ・ まち寄附のみならず、法人市民税免除の件など千葉市はNPOが活動しやすい場所になっていると思う。認証の際もかなりスピード感をもって対応していただいた。金銭面だけでなく人材面でも脆弱な部分があるので、ちょっとした事務負担の軽減などでも非常にありがたい。
- ・ 空き家や廃校などを利用して、NPOの事務所として使用できるようにしてほしい。